

大田区統計調査事務補助員採用選考申込書兼履歴書

【申込みにあたっての注意】

- 黒色のペンまたはボールペンで記入してください。
消せるボールペンは使用しないでください。
- 生年月日等、選択する項目については、該当する□を■のように塗りつぶしてください。

写真

3cm×4cm

裏面に氏名を

記入してから
のり付けするこ
と

フリガナ	連絡先		
氏名	携帯電話 自宅電話		
生年月日	昭和 □・平成 □ 年 月 日 生 満 歳(申込日現在)		
現住所	〒 -		
最終学歴	学校名・学部学科名	在学期間	
		昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 から	卒業・卒業見込・中途退学 □ □ □
職歴 新→旧	勤務先名	在職期間	
	昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 から 昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 まで	正規・非常勤・アルバイト □ □ □	
資格等	名称	取得(見込)年月日	取扱機関
		昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 取得・取得見込	
		昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 取得・取得見込	

【大田区役所における職員歴】 該当の番号を○で囲み、必要に応じて下枠に記入してください。

- 初めてである。(下枠は記入不要)
- 本年度において、職員として勤務した。(勤務した期間、勤務場所をすべて記入)
- 本年度は勤務していないが、以前に職員として勤務したことがある。(最新のものを1つ記入)

職歴 新→旧	勤務課・所・園・学校名	在職期間	種別(丸で囲む)
		昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 から 昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 まで	常勤・再任用・非常勤・ 臨時職員
		昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 から 昭和 □・平成 □・令和 □ 年 月 まで	常勤・再任用・非常勤・ 臨時職員

【作文課題】

「あなたの有している知識や経験等をどのように事務補助員として活かせるか」(字数指定なし)

【面接の希望日程】

面接は、令和8年1月7日から令和8年1月14日までのうち、土日祝日を除いた5日間の間で行います。

第1希望から第3希望まで、ご希望の日にちを①から⑤の番号から選んでご記入ください。

ご希望が無い方(いつでも面接可能な方)は、「希望なし」を○で囲んでください。

希望が偏り、日にちの調整が必要になった場合は、お電話にてご連絡させていただきます。

①1月7日(水)	②1月8日(木)	③1月9日(金)	④1月13日(火)	⑤1月14日(水)
----------	----------	----------	-----------	-----------

※面接時間帯は、午後(13時から17時)となります。お時間を空けていただくようお願ひいたします。

希望なし

第1希望

第2希望

第3希望

【署名】

私は、大田区統計調査事務補助員採用選考について、申し込みます。

なお、私は、地方公務員法で選考を受けることができないとされる者に該当しておりません。

また、この申込書のすべての記載事項は事実と相違ありません。

令和 年 月 日 (記入日) 申込者氏名 (自署)

参考 地方公務員法第16条

次の各号のいずれかに該当する者は、条例で定める場合を除くほか、職員となり、又は競争試験若しくは選考を受けることができない。

- 一 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- 二 当該地方公共団体において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から二年を経過しない者
- 三 人事委員会又は公平委員会の委員の職にあって、第六十条から第六十三条までに規定する罪を犯し、刑に処せられた者
- 四 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

(注)平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている者(心神耗弱を原因とするもの以外)は受験できません。